

別添様式1－(1)

自然環境整備計画(国立公園整備事業)
【令和8年度～令和12年度】

とちぎけん
栃木県

令和7年12月

別添様式1－(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	栃木県	対象地域	日光国立公園(日光地域及び那須・甲子塩原地域)
計画期間	令和8年度～令和12年度		

目標
・豊かな自然に触れ楽しく安全に利用するための施設整備を行い、利用の推進を図るものとする。 ・老朽化対策及び国際化対応のため、適切な施設の更新及び多言語化対応を行う。

目標設定の根拠
(1)対象地域の現状 日光国立公園は、那須火山帯に属する山々や豊かな森林、渓谷、湖、滝、湿原等、火山群と水が織りなす自然景観が特徴の国立公園で、ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」等、世界的にも貴重な自然が広がっている。 春は花、夏は水、秋は紅葉、冬は雪と、日本の四季を満喫できる自然環境に加え、世界遺産「日光の社寺」や皇室ゆかりの施設、旧外国大使館別荘など、歴史・文化遺産を多数有するほか、火山と水の恵みである温泉も豊富で、歴史ある古湯・秘湯も数多く点在する。 また、JR・東武鉄道及び東北自動車道が県内を縦断しており、鉄道アクセスに加え、空港や主要駅から直通の高速バス等も運転されているなど、公共交通により東京から約2時間でアクセスが可能であり、首都圏から非常に近い位置にあることも大きな特徴となっている。
(2)外国人観光客の状況 令和5年度の利用者数推計値では、約33万人の外国人が日光国立公園を訪れている。
課題 ・自然公園施設については、トイレの洋式化や案内標識の多言語化等の改修を順次進めているが、必要箇所の改修は完了しておらず、また、木道等の老朽化等も進んでいることから、利用者の安全性の確保及び外国人観光客も含んだ利用者の増加に向け、引き続き集中的に改修を行う必要がある。

対象地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
ア 景観保全と施設整備 a. 魅力的な景観の保全・創出により、自然公園としての魅力の磨き上げを行う。 b. 施設の改修・ユニバーサルデザイン化により外国人にとって使いやすい自然公園として整備する。	
a. 日光エリア 日光山内などの歴史スポット散策や中禅寺湖周辺におけるトレッキングを中心とした施設整備を行なう。 ① 世界遺産周辺 ② 中禅寺湖畔 ③ 奥日光湯元・光徳	交付金対象事業等一覧表(1) 番号1,3,5～13,15
b. 鬼怒川エリア 温泉地を拠点としたトレッキングが楽しめるよう、散策経路を中心とした施設整備を行なう。 ① 湯西川・川俣・奥鬼怒	交付金対象事業等一覧表(1) 番号2,4,14
c. 那須・甲子エリア 殺生石や八幡などを周遊する散策経路や、那須岳周辺の登山道を中心とした施設整備を行なう。 ① 那須高原・那須温泉郷 ② 板室温泉 ③ 甲子	交付金対象事業等一覧表(1) 番号16～21
d. 塩原エリア 温泉郷を拠点に、本格的な自然体験が楽しめるよう、民間のガイドツアー等と連携した歩道等の施設整備を行なう。 ① 塩原温泉郷 ② 八方ヶ原	交付金対象事業等一覧表(1) 番号22～36

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
						基準年度		目標年度
日光自然博物館の来館者数	人／年	県立日光自然博物館の来館者数	施設からの報告	当事業の整備効果に伴う日光国立公園利用者の変動を日光自然博物館の来館者数で把握	99,071	R5	99,000	R11
那須高原ビジターセンターの来館者数	人／年	環境省那須高原ビジターセンターの来館者数	施設からの情報提供	当事業の整備効果に伴う日光国立公園利用者の変動を那須高原ビジターセンターの来館者数で把握	16,742	R5	19,000	R11
自然公園施設での利用者事故	件／年	栃木県管理の自然公園施設での利用者の事故の件数	栃木県で把握	施設利用者の事故件数の変動により整備効果を把握	5	R6	3	R11

その他必要な事項
栃木県が適切に維持管理を実施する。